

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区港南 1-8-23 ShinagawaHEART 2F
園名	ミアヘルサ保育園ゆらりんはあと

1 活動のテーマ

<テーマ>

SDGs

<テーマの設定理由>

草花や昆虫などの自然物に興味を持ち、探索を楽しんでいるため

2 活動スケジュール

10/26 自然物を遊びに取り入れる
11/27 自然物の匂い
1/28 香水作り
2/20 バスボム作り
3/13 バスボムの泡の観察/写真撮影

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・秋の自然物が楽しめる場所に行く
- ・自然物でままごとができる玩具（鍋・皿・カップ・お椀・まな板・包丁・スプーン等）

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①海洋大学へ散歩に出かけ、秋の自然物を探したり集めたりする
- ②見つけた自然物を使ってままごとをする

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「自然物を使っておままごとができそう」との保育者の言葉から、自然物をままごとの道具や食べ物に見立てる子どもが多かった。
- ・『金木犀の花を拾ってオレンジジュースにする』『緑色の葉っぱをレタスにする』『揺らすと音が鳴る植物を見つけて、お店の呼び鈴に使う』など、子どもたちそれぞれが見つけたものを活かして遊んでいた。
- ・その他、どんぐりを観察して「見て！模様だ！」と気づく子ども、松ぼっくり同士をぶつけて「音が鳴る！違うの（別の松ぼっくり）にすると違う音が鳴る！」と気づいた子ども、「みかんのにおいがする」と、視覚・聴覚・嗅覚様々な面で気づいたことが多い様子だった。



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・秋の自然物を使って楽しく遊ぶことはできたが、導入でままごとをすることを話したため、自然物を探するときにもままごとに関する発言が多かった。『自然で遊ぶ』など活動のテーマを広くし、子どもたち自身が考えて探究できるようにするとよかった。
- ・拾った自然物を様々なものに見立て、お店屋さんやままごとなどを楽しんでいたため、継続して遊べるよう保育室にコーナーを設置した。
- ・金木犀や葉っぱなどの匂いについての発言が多くみられたため、次回は自然物の匂いについて探究できるような活動にする。